

謹賀新聞

PDF版はこちら
<http://www.craft-ran.com/pdf/09gajo.pdf>

私的新しい3つの潮流
 2008年はこんなことを
 してました。貴方は？

限定フラワーカード



注目してくださいました

トゥルーティアーズ三昧

城端が舞台となったアニメ「True Tears」
 これまでとは違う方々が城端に



麦屋+曳山=麦端祭

ボランティアなどの社会活動



学校でひだまりくらぶ



7・28水害に中学生と



米国からホームステイ



加越能地名の会



ハート形の雲

身近な美しいものを探してます



雪を冠ったポスト



切り絵「城端十景」完結



なんてもBest 3

去年聴いた講演会部門

- 1位 「脳と人間」 茂木健一郎氏 ※言霊=脳内音楽では？の仮説を立てました(検証中)
 - 2位 「真偽のサカイ」 赤尾栄慶氏 ※ホンモノを見続けないとセモノは見破れない
 - 3位 「現代のいじめ?」 今、大人に出来ること?」 山脇由貴子氏 ※いじめとは集団ヒステリーであり、感染する
 - 3位 「城端の曳山と高岡御車山の宗教風景」 樽谷雅好氏 ※呉西の泉は、地下水脈で縄ヶ池と繋がってることになってる
- 場外 「経営講習会」 清部一夫 ※初の講師役…ダラダラと喋ってしまった…反省 orz_

亀は空を飛ぶのか？

我が家のハット、亀五郎と亀太がこの夏逃走しました。亀の数日後に「階段の途中で見つけたから、ひっくり返しておいた」と母

「そういえば、このところ虫がおらんようになったと思つたら、亀が食べられてくれたやね」と妻。
 「まあ、そんな呑気なことを言ってまするやろ」と捜すのに疲れた僕。

案の定、ひよこっり出てきて あえなく御用となり ました。

「シューシュー」と怒る怒る。 亀つて鳴くんぞね。

捕まえた途端に手足をジタバタしはじめ、水槽の岩の上に乗せると、ピョン！とジャンプ！まさか亀が飛ぶとは思いませんでした。鳴くし跳ぶし、あなどれません。



夫声一語

あけましておめでとうございます。▼昨年はいよいよ年でした。水害に続いて不景気、さらには指導いいた方々が相次いで逝された。しかし僕もすでに四十六歳。中堅を通り越して社会を盛り立てるべき立場にあると自覚しています。身体が動く限り頑張ります。▼最近怖いと思うのは「なだれ打ったように同方向になびく世論」です。ニュース発信者の意図した通りに「反応」する視聴者…、本当に恐ろしい。メディア、アリテラシー能力があればこんなことはないのでしょうか…。▼情報はますます疑ってかかることが必要です。自分ブログなどで情報発信する側に回れば、「発信者にはある程度」意図がある」ことに気づくと思うのです。▼ネットと紙媒体を使って毎日情報を発信しつづけています。自分自身を研ぎ澄ます為に。 □□□